

下山 静香の「おんがく＊ブンガク」鑑賞会

日頃音楽に親しまれておられる方も多いと思いますが、カラオケやジャズ鑑賞など、シニアクラブでは何回かの企画を進めてまいりました。

今回は、裸足のピアニストとして知られる下山静香の「おんがく＊ブンガク」鑑賞会のご案内です。ゲストに長島剛子（ソプラノ）、夏目房之介（漱石の孫）を迎えて夏目漱石の生き様を探求するコンサートです。芸術の秋！ 演奏・トーク・映像・朗読・対談による新感覚芸術サロンをお楽しみください。

－ 記 －

- ・日 時：令和元年 10 月 29 日（火） 19 時開演（開場 18 時 30 分）
- ・場 所：ラトリエ バイ エーピーシー（L' atelier by apc）
渋谷区東 1-26-30 澁谷イーストビル1F 03-6427-1088
<http://www.latelierbyapc.com/latelier/index.html> 参照
18 時 20 分までに会場にお越しください。チケットをお渡しします。

- ・参加費：シニアクラブ特別料金 3,000 円
（一般は 4,000 円）
- ・内 容：ソプラノ・ピアノソロ&朗読
インタビュー対談／夏目 房之介氏
別途添付パンフレットをご参照ください。
- ・申込み：シニアクラブ事務局長 田代まで
電話 090-6147-0946 または
メール shu.wga@ac.auone-net.jp
- ・締切り：10 月 11 日（金）max20 名
- ・問合せ：榎本まで
電話：080-1084-6431 または kyoji-enomoto@jcom.home.ne.jp



【会場への地図は次ページ参照】

渋谷駅東口交差点から明治通りを南東方向に約 400m、並木橋交差点角の赤く目立った看板「はんこ屋さん 21」の隣



Menu

ソプラノ&ピアノ

菅原明朗：《無題》《ある女の訴ふるを聴けば》(夏目漱石の詩による)

二宮玲子：《漱石の俳句による7つの歌》

ピアノソロ

瀧 廉太郎：メヌエット／憶み

C.ドビュッシー：《ピアノのために》より

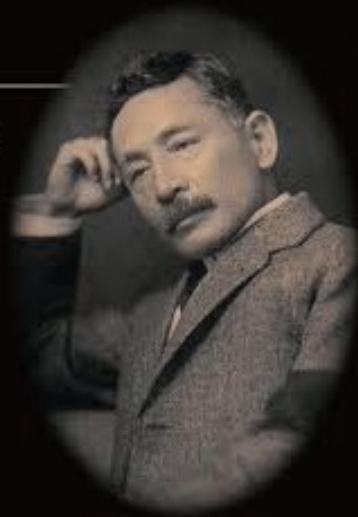
F.ショパン：即興曲 第1番

E.グラナドス：夢の国(海の魅惑の宮殿) ほか

※順不同。都合により演奏曲目を変更する場合がございます。

朗読コーナー◆夏目漱石作品より

インタビュー対談◆夏目房之介氏を迎えて



下山静香の

ゲスト 長島剛子(ソプラノ)

夏目房之介

演奏・トーク・映像・朗読・対談◆新感覚芸術サロン

こころの探究者 夏目漱石

おんがく × ブンガク vol.4

漱石と西洋
グーゼと『草枕』
漱石幻想



2019年

10月29日(火)

開演 19時(開場 18時30分)

一般 4,000円 グラシア会員 3,500円

学生 2,000円

l'atelier by apc

Salon concert, Violon, Alto, Violoncelle & Archet Tokyo

ラトリエ バイ エーピーシー

渋谷区東1-26-30 渋谷イーストビル1F

Tel: 03-6427-1088



主催：ミューズ・グラシア／協力：荒川和重

お問い合わせ・ご予約：musegracia@r3.dion.ne.jp

チケット購入：Peatix <https://shizukapiano1029.peatix.com>

下山静香 (ピアノ) Shizuka Shimoyama



独自の世界を開拓し、走り続ける異能のピアニスト。「知性と感性に優れた演奏」「透明な抒情性と詩情に満ちた佳演」などと評され、本邦屈指のスペイン音楽エキスパートとしても知られる。

桐朋学園大学卒。99年、文化庁派遣芸術家在外研修員としてスペインへ渡りマドリッド、バルセロナほかで研鑽。「らららクラシック」(Eテレ)、「クラシック倶楽部」「びあのピアノ」(NHK-BS)などに出演。豊富なレパートリーと知識を生かしたレクチャーコンサートを数多く行うほか、美術や文学とのコラボレーション、中南米シリーズなどのユニーク企画を手がける。

CDは「ライブ・イン・アルバラシン」(ゴイエスカス)など11枚。「レコード芸術」誌で特選盤・準特選盤に多数選出されているほか、アスキー「ハイレゾ真剣勝負」特薦、読売新聞 SOUND BOX 推薦など高評を得る。執筆活動も旺盛で単著「裸足のピアニスト」、翻訳書「サンティアゴ巡礼の歴史」のほか、共著は10冊以上にのぼる。2015年より「下山静香とめぐるスペイン 音楽と美術の旅」シリーズを実施(主催・郵船トラベル)。

桐朋学園大学、東京大学 非常勤講師。日本スペインピアノ音楽学会理事。

長島剛子 (ソプラノ) Takeko Nagashima



国立音楽大学声楽科卒業。同大学院修士課程独歌曲専攻修了。ドイツ・デットモルト北西音楽大学卒業。その後ケルン音楽大学マスタークラスにてリト解釈法の研鑽を積む。1998年に「長島剛子・梅本実 リトデュオ」を結成、19世紀末から20世紀のドイツ歌曲紹介を軸に活動を続け、声楽とピアノによる緊密なコラボレーションが高く評価されている。

1998年「新ウイーン楽派」、2001年「世紀末から20世紀へ」のリサイタルにより札幌市民芸術祭大賞。2003年には平成14年度文化庁芸術祭優秀賞を受賞している。また近年は日本歌曲の分野にも活動の幅を広げ、人気作曲家信長貴富氏の歌曲、重唱曲に集中的に取り組み、本年7月のリサイタルでは委嘱作品の初演を行ない大きな反響を得た。これまでに「架空庭園の書〜新ウイーン楽派の歌曲を集めて〜」「光の中のベルリン〜第三帝国で禁じられた歌曲〜」「遠望〜ヘルダリーンの歌曲〜」の3枚のCDをリリース。

現在、国立音楽大学及び大学院教授。

夏目房之介 Fusanosuke Natsume



1950年東京生まれ。漫画批評家、漫画家、コラムニスト。80年代、「週刊朝日」での漫画コラム連載が人気を博す。「ツイスタービー」(TBS)、「土曜倶楽部」(NHK レギュラー)などに出演。

「手塚治虫はどこにいる」(筑摩書房 1992年)や「マンガはなぜ面白いのか——その表現と文法」(NHKライブライリー 1997年)といった代表作で日本における漫画表現論の礎を確立。1999年、漫画批評の優れた功績にて手塚治虫文化賞特別賞受賞。「BSマンガ夜話」(NHK)レギュラー解説者としても活躍。

「マンガ学への挑戦」、「おじさん入門」、「漱石の孫」、「孫が読む漱石」、「マンガに人生を学んで何が悪い?」など多数の著書がある。

2008年より、学習院大学大学院人文科学研究科教授。

裸足のピアニスト、下山静香が贈る欲張りサロンシリーズ、近代日本の文豪、夏目漱石登場!

「吾輩は猫である」「坊ちゃん」「こころ」……日本人なら誰もが知る国民的作家、夏目漱石(1867-1916)。彼が生きた時代の日本は、国家を挙げての欧化主義で急激な転換期にあり、人々は内的矛盾やひずみを抱えながらも懸命に生きていた。そんななか、イギリス留学も経験した漱石は、作品を通じて近代的自我のありかたを追求していく。

第4回「おんがく×ブンガク」は、漱石と近代日本、西洋とのかかわりに触れるほか、「草枕」を座右の書としたグリーン・ケールも登場。そして漱石作品と音楽のコラボレーションはいかに……?

インタビュ対談ゲストは、漱石の孫であり、漫画批評家・コラムニストなど幅広く活躍する夏目房之介氏。また、近現代作品を得意とする長島剛子氏(ソプラノ)が前回に続き出演、漱石が没した頃から作品を発表し始めた菅原明朗と、(M)A(B)O(R)O(S)〜オペラ源氏物語〜、狂言オペラ「たぬきのほらづつみ」などで知られる二宮玲子氏の歌曲を歌う。

下山静香の「こころ」の探究者 おんがく×ブンガク

夏目漱石

vol.4



〒150-0011 渋谷区東1-26-30 渋谷イーストビル1F
Shibuya East Bldg. 1F, 1-26-30 Higashi, Shibuya-ku Tokyo
Tel: 03-6427-1088 お電話対応 火-土 11:00-19:00
l_atelier@me.com www.latelierbyapc.com

Hikarie(出口15)から約 8 min.
代官山駅から約 15 min.
はんこ屋さん右隣ビル、入口は明治通り沿い

